



おかげさまで70周年

地域なんでも情報局

第25号

平成28年12月9日発行

長崎市社会福祉協議会
長崎市上町1番33号

TEL: 095-828-1281

表彰式典



今年度は、長崎市社協会長表彰で63名と7団体に、長崎県共同募金会長崎市支会支会長表彰では、赤い羽根共同募金の目標達成地区の4地区に、日本赤十字社長崎県支部支部長表彰では日本赤十字社資募集の目標達成地区の4地区への表彰となりました。表彰

34回長崎市社会福祉大会を開催しました。
この大会は、私たち長崎市社協と長崎県共同募金会長崎市支会の主催で毎年開催しており、市内で社会福祉に貢献されている方々の表彰や特別講演などを行いました。

第34回長崎市社会福祉大会を開催しました

『つながろう！ふだんの暮らしの中から』

平成28年11月16日（水）に、長崎市民会館文化ホールにて「第34回長崎市社会福祉大会」を開催しました。今年度は、私たち長崎市社協と長崎県共同募金会長崎市支会の主催で毎年開催しており、市内で社会福祉に貢献されている方々の表彰や特別講演などを行いました。

今年度は、長崎市社協会長表彰で63名と7団体に、長崎県共同募金会長崎市支会支会長表彰では、赤い羽根共同募金の目標達成地区の4地区に、日本赤十字社長崎県支部支部長表彰では日本赤十字社資募集の目標達成地区の4地区への表彰となりました。表彰

特別講演では、長崎総合科学大学教授のブライアン・パークガフニ先生による「長崎の『和華蘭』文化に学ぶ」と題したユーモア溢れるご講演をいただきました。大会の最後は、長崎市社協理事菊野様による大会宣言（案）が読みあげられ、参加者の皆様からの拍手による承認をいただき、大会は閉会となりました。

おめでとうございました。今年度は大会テーマに「つながろう！ふだんの暮らしの中から」を掲げ準備を進めてきました。参加された方々に長崎市社協の活動を知っていただきたいの思いから、地域福祉係理事田中による「長崎市社協取り組み紹介」を発表させていただきました。また、社協職員が実際に支援活動を行った熊本地震の被災地や災害ボランティアセンターについてのパネル展示も行いました。

司会と受付を務めていただいた長崎純心大学のみなさん



おかげです。紙面をお借りしお礼を申し上げます。長崎市社協は今後とも「縁の下での力持ち」として地域の方々との協働のもと、地域福祉の推進に力を注いでいきます。



要約筆記と手話で同時通訳！



整備された現川



このように思い立ったら即行動に移す高松さんですが、その行動力は川だけでなく山でも発揮されています。建設関係のコンサルタント会社を経営している高松さんは、その職を生かして現川の山林の林道整備や植林活動を長年されてきましたが、林道には不法投棄されたゴミが山積みになっていま

今回は、現川地区で様々な地域活動に取り組んでいらつしやる高松隆也さんをご紹介します。
現川地区と言えば、名前のとおり現川が流れる自然豊かな地区で、川も山もよく整備されていて、きれいな水で遊べる河川プールがあり、夏には子ども達が水遊びをする声がにぎやかに響いています。今こそ子ども達を安心して川で遊ばせることができず、8年前は雑草が生い茂り、とても子ども達が遊べる状態ではありませんでした。そんな地元の現状を憂いた高松さんは、現川をきれいな川にするために「現川をきれいにする会」を仲間と共に立ち上げ、平成20年から清掃活動などを行ってきました。地元の自治会や小学校PTAや子ども達にも協力を呼びかけて一緒に活動を行い、また行政にも河川整備の働きかけをして、約2年かけて河川公園を作りあげました。地域の努力もあって、今では鮎がのぼってくるほどきれいな川になっています。



あの人！どんな人！こんな人！

高松隆也さん 現川地区



それをなんとかしたいという思いから、最初は投棄されたゴミの撤去を行い、紫陽花を植えて「あじさい道路」を作ったりしていましたが、不法投棄が二度と起らないよう、いつそのことと森林公園を作ったというところで、平成25年に「現川里山保全の会」を立ち上げ、国の支援を受けて森林公園づくりに乗り出しました。しかし、国の支援を受けたとはいえ、公園づくりに費用がかかります。そこで、地域のために日々奔走される高松さんの熱意に賛同した方々が、公園づくりのために山林の伐採や、整備などを協力して行い、延べ千人を超す方々がボランティアとして参加されました。そうしてついに、平成27年11月29日に「うつつがわ森林公園」がオープンしました。この公園内には、散策道や炭焼釜がある山林の中を散策したり、炭焼きの体験もできるようになっています。オープニングイベントでは、地元の家族連れや、公園づくりに協力した関係者など、たくさんの方が参加者で盛り上がりました。高松さんはこの公園をゆくゆくは、フォレストアドベンチャーのように、子ども達が山の中で自然と触れ合っている公園にしたいとおっしゃっています。高松さんの行動力はまだまだ尽きることはないようです。

うつつがわ森林公園案内図



オープニングイベントの様子

社協会員募集中!!

『地域なんでも情報局』は、市民の皆様からお寄せいただいた社協会費により発行しています。

カツパ塾

長崎市社協
銭座校区支部



去る9月22日(木・祝日)、銭座公民館にて、第2回カツパ塾(キッズ防災ボランティア養成)が開催されました。このイベントは、長崎市社協銭座校区支部で平成26年度からスタートした「災害にも強いまちづくり事業」の一環の取り組みで、児童やその保護者に楽しみながら防災への意識を高めていただくことを目的としたイベントです。昨年の「サバイバル飯炊き体験(空き缶と牛乳パックを使ってご飯を炊く)」に続き、今回は家庭や地域のお寺等から使った古びたろうそくを集め、それを再利用したオリジナルキャンドルづくりに取り組みました。お父さんやお母さん、支部役員から手伝ってもらいながら、カッターやハサミでろうそくを一心不乱に削る子ども達。気がつけば、子ども達以上に熱中する大人もいたり、それぞれが楽しく作業を進めておられました。削ったろうそくにクレヨンで思い思いの色づけを行い、湯せんでゆつくりかき混ぜながら、ろうそくを溶かし、中心に芯を入れ、冷やして色鮮やかな手作りキャンドルが完成しました。



参加者(*保護者)の感想

・家で災害が起きた時、ろうそくがあるとなんとなく助かると思う。日頃、電気を当たり前に使っているのを見直して大事にしたいと思う。

・親子で楽しく参加でき、他の家族の方々とも交流できて楽しかった。

・息子が上手にろうそくを削るので成長を感じました。



ふれあいの浦地区球技大会



10月23日(日)、午前8時30分長崎市水の浦地区では、毎年恒例の行事となっている「ふれあい球技大会」が開催されました。当日は、あいにくの雨模様となり、会場を、予定していた飽浦小学校のグラウンドから小学校体育館へ急遽変更することとなりましたが、午前8時半の開会前には会場の設営も整っており、多くの参加者が体育館に集い開会を待ち望んでいました。大会前の事前エントリーによると、149名の参加が見込まれましたが、この日、小学校体育館には、子どもから高齢の方までおよそ170名の参加がありました。

午前8時30分、グラウンドゴルフ、ペタンク、いごてだま、ソフトバレーボールなど、幅広い年代で楽しむことができる種目が準備されており、7自治会対抗で豪華賞品をかけた熱戦が繰り広げられました。

午前の競技では、体育館内でも所を区切って、グラウンドゴルフ、ペタンク、いごてだまの競技が実施され、ペタンク競技では、妙技で会場が沸いた場面や運動に苦手意識がある参加者も会場の雰囲気促されて「一回やってみようか!」と挑戦する姿も見られました。

午前の競技が終了すると、体育館内でのソフトバレーボールの開幕となりました。大谷町第一、第二、第三、第四自治会からなる「大谷連合チーム」VS水の浦町第一、第二、第三自治会からなる「水の浦連合チーム」の戦いは、この日、一番盛り上がりを見せました。

結果は、男子優勝が水の浦連合チーム、女子優勝が大谷連合チームと両チームとも優勝の喜びをわかちあうことができました。

高齢者ふれあいサロン開設状況

- ①週1回開催型・・・45箇所
 - ②月1～2回開催型・・・94箇所
- ※平成28年11月18日現在



平成28年10月6日に小江原地区で開設された「いきいきサロン」。

毎週木曜日の13時30分から15時30分に、体操や踊り、歌、ゲーム、誕生会などをされて参加者の皆さんが楽しい時間を過ごされています。

また、今年も長崎市の若手職員が第一回目の会議から参加し、当日の球技大会でも積極的に活躍していました。その他にも、来賓として出席していた長崎市西部地域包括支援センターや地元企業、小中学校等、水の浦地区に拠点を置き、活動している組織・団体も一緒に競技に参加することで、地域住民とのふれあうきっかけとなっているというところを見取ることができました。

また、今年も長崎市の若手職員が第一回目の会議から参加し、当日の球技大会でも積極的に活躍していました。その他にも、来賓として出席していた長崎市西部地域包括支援センターや地元企業、小中学校等、水の浦地区に拠点を置き、活動している組織・団体も一緒に競技に参加することで、地域住民とのふれあうきっかけとなっているというところを見取ることができました。



皆様お疲れ様でした

社協会員募集中!!

『地域なんでも情報局』は、市民の皆様からお寄せいただいた社協会費により発行しています。